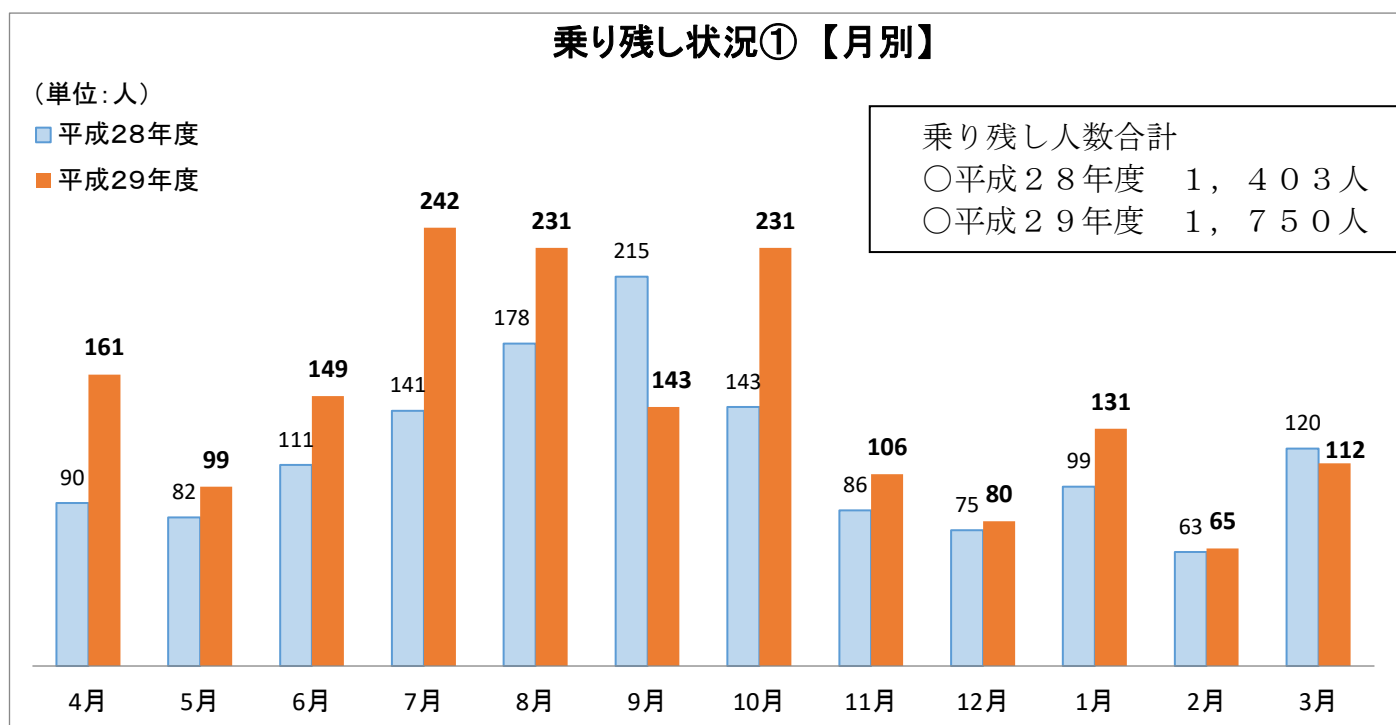
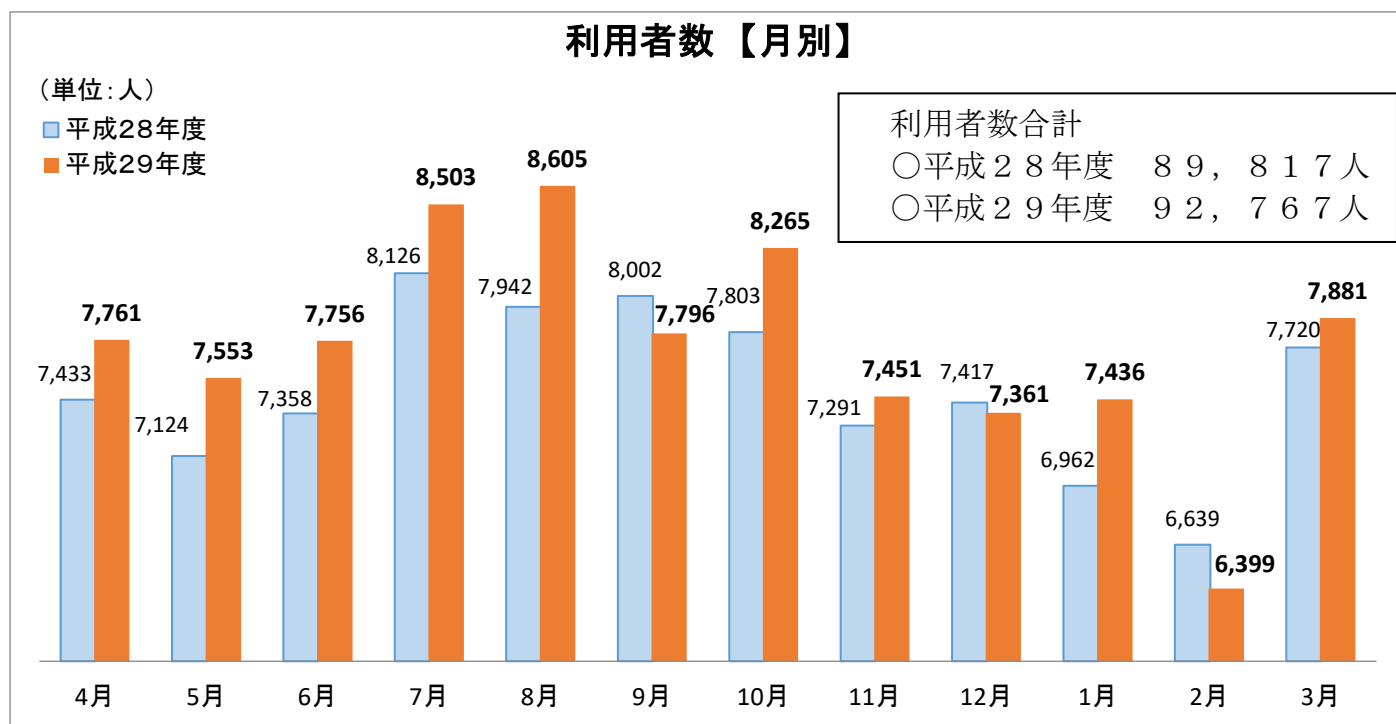
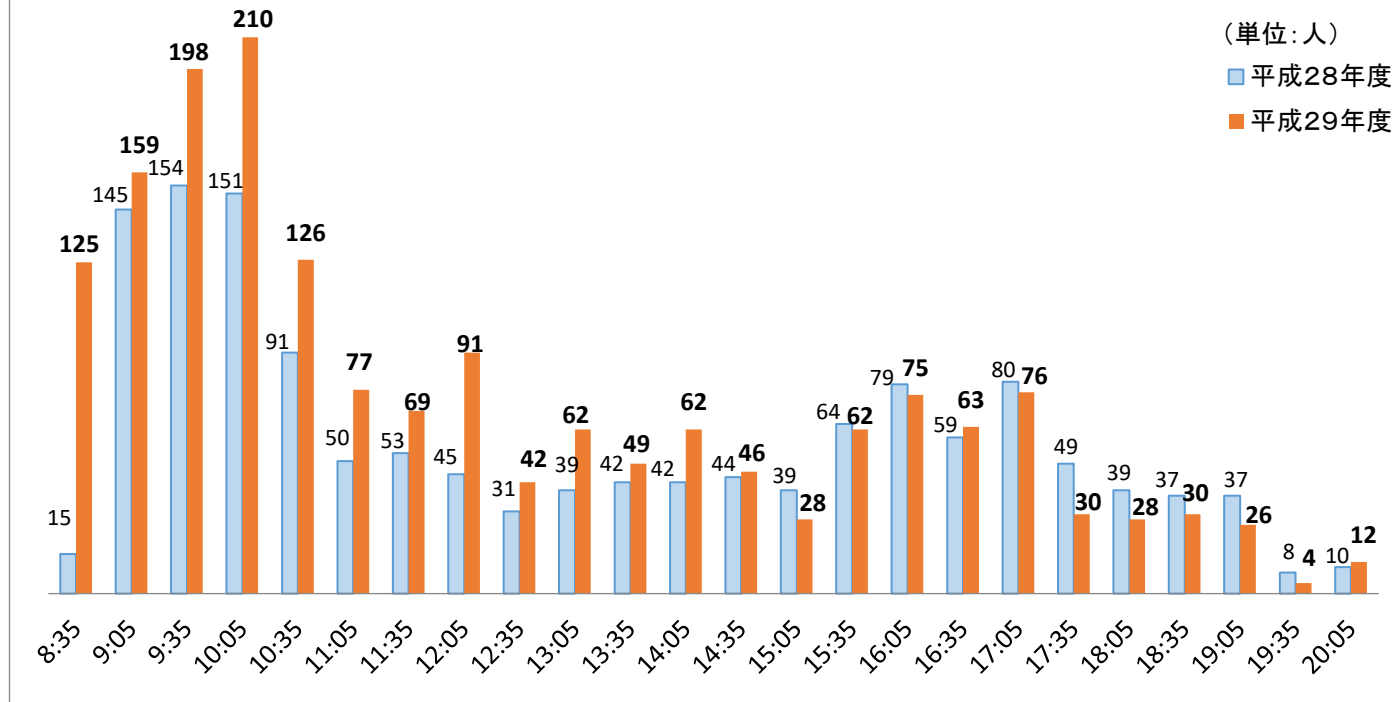


C o C oバス・ミニ 野川・七軒家循環における乗り残しについて



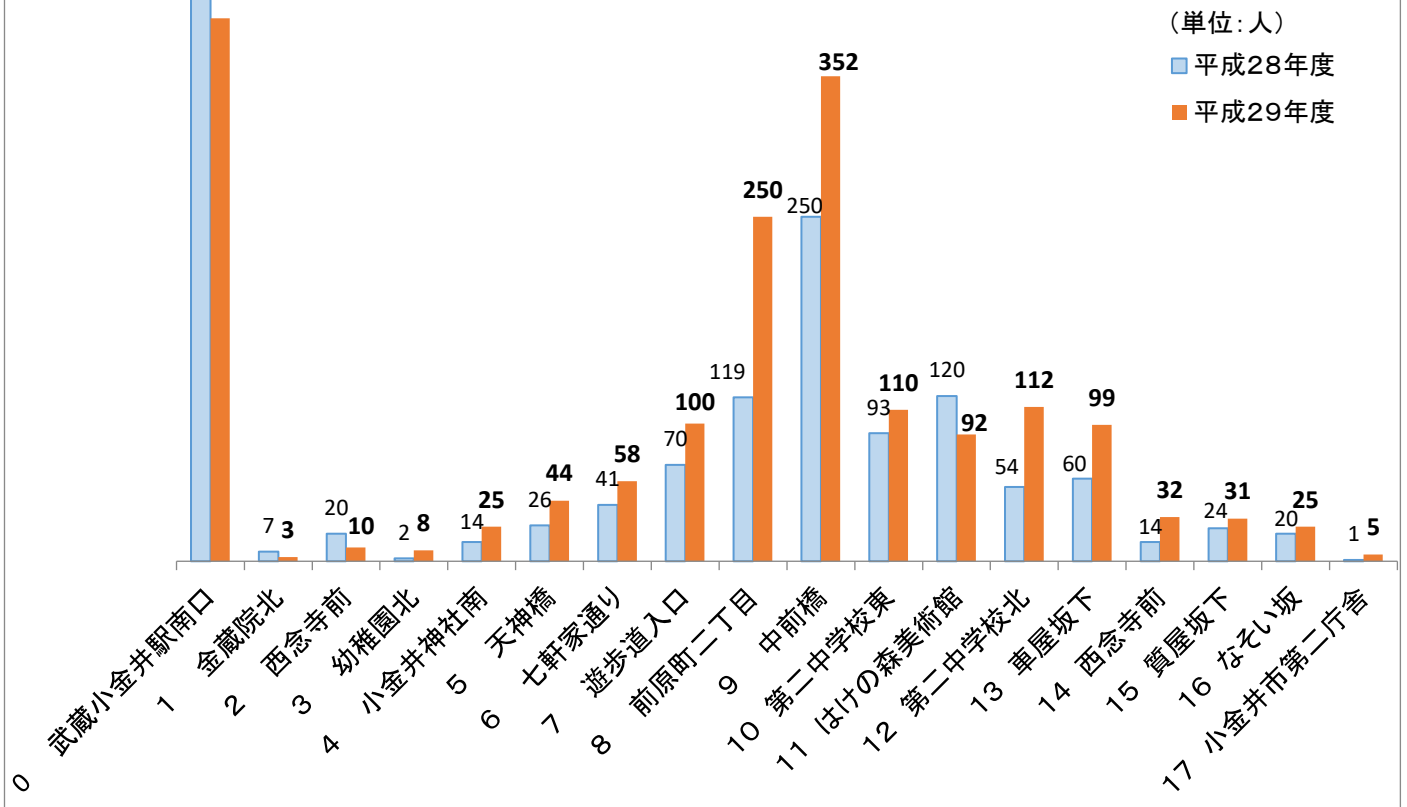
- 平成28年度と平成29年度を比べると、利用者が2,950人増加しており、また、乗り残しも347人増加している。
- 月ごとの推移を見ると、利用者が多い月には乗り残しも多く発生しており、利用者の増加に伴い、乗り残しも増加している状況である。

乗り残し状況② 【時間別(便別)】



- 時間帯別に見ると、主に朝の時間帯において乗り残しが多発しており、10時05分発の便がピークとなっている。
- 平成28年度と比べると、平成29年度においては午後2時台までそれぞれ乗り残しが増加しており、特に、8時35分発の便においては乗り残しが大幅に増加している（110人増）。

乗り残し状況③ 【停留所別】

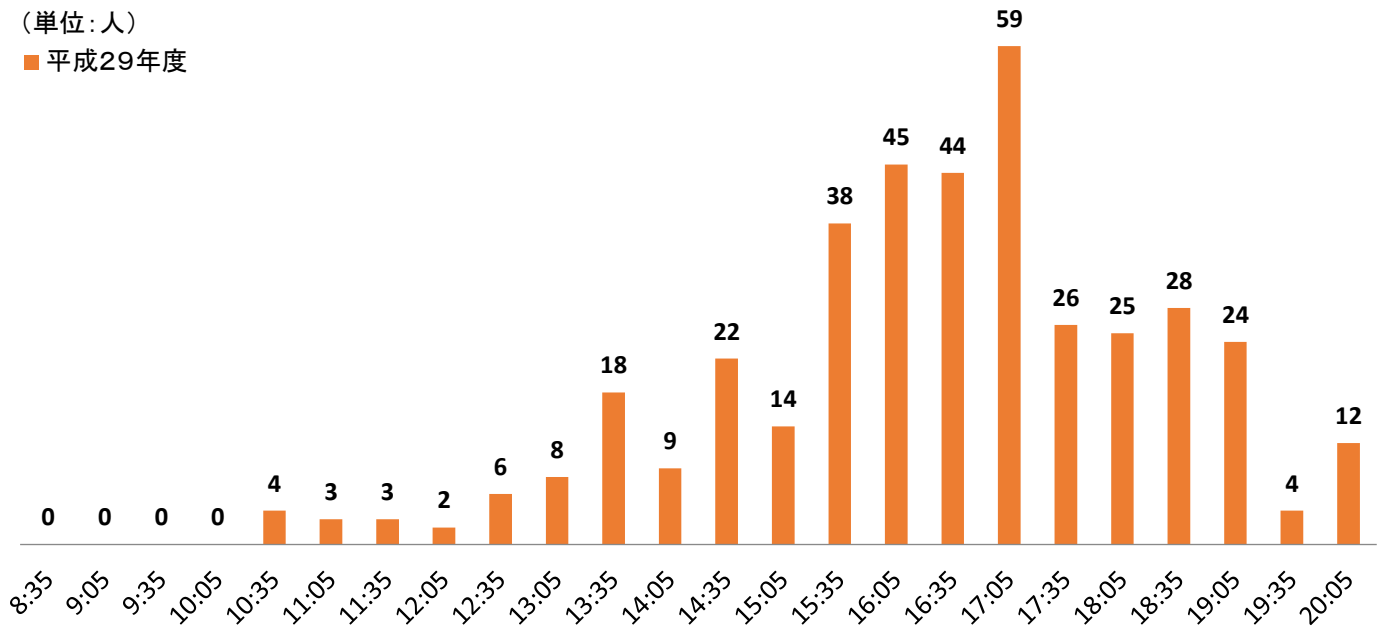


- 停留所別に見ると、始発バス停である「0 武蔵小金井駅南口」において最も多く乗り残しが発生している。乗り残し人数は前年度よりも74人減少しているが、バス停で待っている人数が既に10人いることを確認して、乗れないと諦める利用者も存在する。
- 「9 中前橋」や「8 前原町二丁目」近辺の停留所における乗り残しも比較的多い。特に、「8 前原町二丁目」バス停においては前年度の倍以上の乗り残しが発生しており、大幅な増加がみられる。

乗り残し状況④ 【停留所・時間別(便別)】 〇 武蔵小金井駅南口 ※平成29年度

(単位:人)

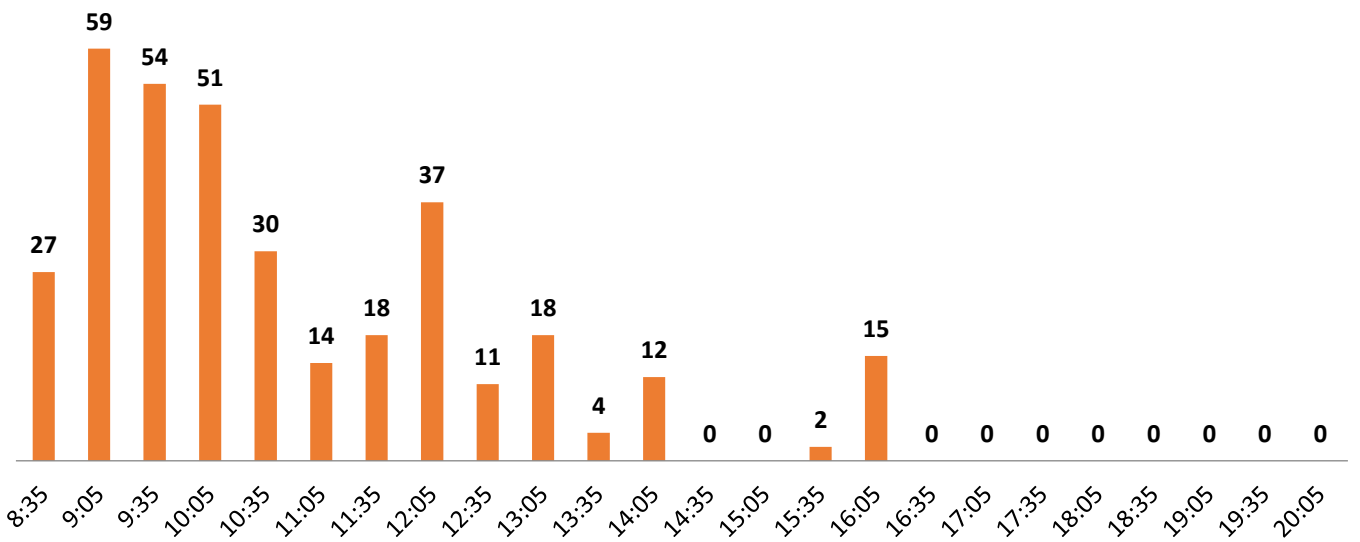
■平成29年度



乗り残し状況⑤ 【停留所・時間別(便別)】 9 中前橋 ※平成29年度

(単位:人)

■平成29年度



- 「〇 武蔵小金井駅南口」バス停においては、午後3時以降に乗り残しが多く発生しており、武蔵小金井駅から自宅等までの「帰り」の利用が集中している。
- 対して、「9 中前橋」バス停においては、午前中（朝の時間帯）に乗り残しが多く発生しており、自宅等から武蔵小金井駅までの「行き」の利用が集中している。